

Weekly Reports 2021-2022



国際ロータリー第2680地区
Rotary
加古川ロータリークラブ



2021-22年度 RI会長:シエカール・メータ地区ガバナー:吉岡 博忠
加古川ロータリークラブ会長:藤本 光一 / 幹事:畑 公平
〒675-0064 兵庫県加古川市加古川町溝之口800番地 加古川商工会議所会館5F
TEL 079-423-0661 FAX 079-423-0677 e-Mail kakogawa@rotaryclub.ne.jp

令和4年5月24日(火) 晴 No. 28



▲会長挨拶



▲芝本会員に
地区より委嘱状



▲富田会員の卓話

会長の時間

会長 藤本 光一

皆さんこんにちは

皆さんは「キラキラネーム」というのをご存じでしょうか。

先々週ぐらいから急にワイドショーやニュース番組が取り上げるようになり、話題に上ってきたようですが、「光宙(ぴかちゅう)」、「大空(すかい)」など、子供の名前で漢字と読みが一致しないようなものが多く、特に最近の「キラキラネーム」はますます読み方が難しくなっているようです。

現在の戸籍法では読み仮名をつける必要ありませんが、行政のデジタル化を進めるうえで読み方を入力する必要がでてきたということで、戸籍法を改正することが検討されています。本来の漢字の読みとは違う読み方をどこまで認めるかについて議論が進んでいるようです。

マイナンバーカードの普及や行政のデジタル化を進めるうえで、五十音しかない平仮名で整理したいという事情もあるようですが、漢字から推察される意味であれば認められるのではないかとされています。現在は3つの案が検討されているようです。

第一案は、戸籍法には規定を設けず、権利の乱用や公序良俗に反するケースを除いて認めるというものです。

この公序良俗に反するケースというのは、皆さんもおそらく覚えておられると思いますが、1994年に度を越したネガティブな命名で世間を騒がせた「悪魔ちゃん命名騒動」のようなことを指していると思われる。ただ、このような騒動があった頃から、逆に「キラキラネーム」が流行り出したようにも思います。

第二案は、音読みや訓読みができたり、慣用で読めたりするか、あるいは、漢字の意味との関連があれば認める案です。

第三案は、音読みや訓読みができたり、慣用で読めたりするか、あるいは、それができなくても、正当な理由があれば認めるというものです。

例えば、「大空」を「すかい」、「騎士」を「ないと」、「海」を「まりん」と読むのは、漢字の意味との関連があることから、認められるだろうとしています。また、「光宙」を「ぴかちゅう」と読ませるのも、漢字の意味や読みから連想されることから認められる可能性があるということです。

一方で、「一郎」と書いて「たろう」と読ませたり、「高」と書いて漢字の意味とは逆の「ひくし」と読ませたりするケースは一般的に誤って読まれるおそれがあるとして、認められない可能性があるということです。真逆のような意味のものは却下される可能性が高いということです。

ただ、「キラキラネーム」は4年ほど前からは下火となったようで、私の店でも最近では女の子では 陽、紬、凜 という漢字を使った名前が多く、男の子では 蓮翔、蒼という漢字を使った名前が多く漢字と読みが一致しないようなものは少なくなっているように思います。

ちなみに最近私の店であった漢字の読みとは違う読み方の命名では二世(じゅにあ) 青空(すかい) 月姫(かぐや) 詩(ぼえむ) 怜音(れのん) 空新(そあら)

対して、「しわしわネーム」というのを聞いたことはありますか。

「しわしわネーム」は、2015年ごろから広く知られるようになった言葉で、定義はあいまいですが、古風な名前の付け方ということになります。

「しわしわネーム」の定義は一概にはいえませんが、「○子」や「○男」などの一昔前によく見られた名前や、漢字一文字の名前、「ふみ」など平仮名のみでの名前、などが分類されるようです。

「しわしわネーム」に注目が集まった背景には、主に当て字を使用した「キラキラネーム」と言われる名前を避けたいという両親の気持ちがあるようです。

ただ、「キラキラネーム」や「しわしわネーム」どちらであろうと赤ちゃん誕生の喜びがあふれ出ているときに、両親が一生懸命、真剣に考えた子供の名前ということで、できるだけ認めてあげることが大事だと思います。

皆さんはどう思われますでしょうか。

本日の卓話は富田会員です。よろしくお願いいいたします。

幹事報告

- 1) ☆他クラブニュース
例会変更のお知らせ
明石 RC ◇6月1、8、15、22日(水)→臨時休会
◇6月29日(水)→休会[定款第7条第1節(d)]
- 2) 第34回全国ローターアクト研修会の記念品の冊子を回覧します。
- 3) 一年を省みてのご提出について、提出の〆切が本日24日までとなっておりますので、まだの方はご提出をお願いします。
- 4) 本日午後6時半よりプラザホテル1階オーバルルームに於いて、ロータリーを語る会が開催されます。参加予定の会員の皆様、ご出席よろしくお願いいいたします。

ニコニコ



- | | | | |
|---|---|---|------------------------------------|
| 省 | 略 | ☺ | 富田会員、本日の卓話楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 富田会員、本日の卓話宜しくお願いします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 富田さん、卓話がんばってください。楽しみです。 |
| 省 | 略 | ☺ | 本日は卓話をさせていただきます。宜しくお願いいたします。 |
| 省 | 略 | ☺ | 富田会員 卓話楽しみにしております。 |
| 省 | 略 | ☺ | 富田さん、本日の卓話よろしくお願いいいたします。欠席してすみません。 |
| 省 | 略 | ☺ | 富田会員卓話楽しみです。がんばって！ゴルフのように！ |

- 省 略 ☺ 富田会員 卓話楽しみです！
- 省 略 ☺ 富田さん卓話楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 富田さん卓話楽しみにしています。将棋好きだったとは知りませんでした。
- 省 略 ☺ 卓話 大楽しみにしております。
- 省 略 ☺ 卓話 楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 富田会員、卓話楽しみにしています。
- 省 略 ☺ 富田会員、卓話楽しみにしております。
- 省 略 ☺ テーブルの花いただきます。

以上15件 ¥18,000-
本年度累計¥1,404,000-

出席委員会

☆ 今 週 会員数 69 名 出席 34 名 出席免除 17 名 欠席 18 名
☆ 欠 席 者 省略

☆ 前 々 週 会員数 69 名 出席 43 名 出席免除 15 名 欠席 11 名
☆ メークアップ 第8回環境の保護小委員会 4/30 芝本、河合

親睦活動委員会

例会場当番

5月31日(火) 松尾、富田

6月 7日(火) 大西、山口



プログラム委員会

本日5月24日(火)	5月31日(火)	6月7日(火)	6月14日(火)
卓話 「心に残った棋士 (将棋)の言葉」 富田担当	卓話 「ヒアリのその後」 高見担当	クラブ協議会 (一年間の反省)	卓話 ～備えあれば患いなし～ 『AED』と『のじぎく賞』 安井担当

祖国で人びとを助けるウクライナのクラブ

自らも戦争の被害を受けているウクライナのロータリー会員たちは、避難先から戻ってきた市民を支援するために、海外からの支援物資の配布と長期的な救援活動に取り組んでいます。

2月下旬にロシア軍が侵攻して以来、ウクライナのロータリー会員は定期的にビデオ会議を開いて対策にあたってきました。ウクライナのロータリー雑誌『Rotariets』の編集者であるミコラ・スタビリャンコさん(ウクライナ・ロータリーEクラブ会員)によると、同国の会員の活動は、民間の負傷者が手当を受けている病院に薬と電力を供給すること、避難している家族のシェルターを見つけること、次々と送られてくる支援物資を管理することを中心としています。

同国のロータリー第2232地区は、ロシア侵攻開始時に避難した住民たちが戻りつつある都市での活動に焦点を当てています。

ロータリーはウクライナでの戦争による人道的危機に対応しています。

「戻ってきた市民らが目にするのは、破壊された町の姿」だとスタビリャンコさん。自身も、3月の『Rotary』誌とのインタビューで、夜中に空襲のサイレンで目が覚め、家族とともにオデーサの自宅のバスルームに避難したと語りました。そのオデーサにも、5月はじめにミサイル攻撃が行われたというニュースが入っています。

「都市によっては破壊の規模がすさまじく、言葉では言い表せません。再建には相当な労力が必要となるでしょう」とスタビリャンコさんは言います。

同地区では、数十個の発電機を入手・配布し、病院、ビジネス、家庭の電力回復を助けています。また、地区内のクラブは、欧州諸国から寄贈された数台の消防車の輸送を手配しました。スタビリャンコさんによると、火災や緊急時だけでなく、これらの消防車のはしごが電線の修理にも役立っています。

同地区に授与されたロータリー財団からの4件の災害救援補助金(1件につき5万ドル)は、ウクライナ全国の50件近い救援プロジェクトに活用されます。さらに、世界中のクラブから地区に寄せられた40万ドル以上の寄付は、医療物資、食糧、衣服、シェルターなどの緊急物資のために使われました。

ウクライナの都市リヴィウに住むボリス・ボドナーさん(ウクライナ・ユニティパスポート・ロータリークラブ会員)は、海外から送られてくる人道支援物資を管理し、これらを必要なところに届ける手配を行っています。ウクライナ東部から避難民がリヴィウに流れ込んでおり、国連によると、この戦争で1,200万人以上が避難を余儀なくされています。

ボドナーさんによると、寄付金の多くはウクライナと国境を接する国(主にポーランド)に送られ、これらの国に設置された支援拠点でクラブが物資の調達と発送を行っています。

「欧州以外の国から物資を発送するのは複雑なので、まずは欧州にある拠点に寄付金を送ってもらい、そこで物資を購入して直ちにウクライナに発送する、という方法が効果的です」とボドナーさん。募金においては、ミュンヘン(ドイツ)の複数のクラブが率先して力になってくれていると言います。

共通の関心に基づいて育まれた絆もサポートにつながっています。セルゲイ・ザヴァイスキーさん(キーウシティ・ロータリークラブ会員)によると、会員間の関係、特にロータリー親睦活動グループで培われた関係を通じて、多くの支援物資が寄せられています。

ウクライナ西部のイバノフランコフスクに住むザヴァイスキーさんは、特にヨット愛好家ロータリアンの国際親睦活動グループ、飛行愛好家ロータリアンの親睦活動グループ、医療従事者の国際親睦活動グループを引き合いに出し、次のように語ります。「非常に多くのロータリーの友人たちが、世界中から毎日のように支援を寄せてくれます。温かい思いが伝わってきて、心の支えとなっています」

ウクライナの会員たちは、緊急物資の受け入れと配布にあたりながら、将来のことも計画しています。

ボドナーさんはこう言います。「戦争が終わった後もずっと人道的な問題は続くでしょう。人道支援物資の受け入れと配布の態勢と経路を今から整えておくことで、将来にも役立つはず」